

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET451011		美術科指導法特論(Special Seminar in Methodology of Art Education)					教科実践									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 藤井 康子 E-mail fujii-yasuko@oita-u.ac.jp 内線 7595										
授業の概要	学部における図画工作科指導法(小)や美術科指導法(中),美術科授業論などにおける学習成果を基礎として,今日の学校において生じている図画工作科・美術科の課題を認識し,教材開発の視点や指導法の見直し等その改善方法について考察することをねらいとする。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1 図画工作科・美術科の指導に関して,今日の学校で生じている課題を理解することができる。						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 図画工作科・美術科のよりよい授業づくりにおける要件について,主体的に考察することができる。																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 教育実践と美術教育理論とのかわり / 美術科教育とは何かを学ぶ。																
2 学習指導要領にみる「表現」と「鑑賞」の内容構成と系統性																
3 日本と海外の教科書内容の比較からみる題材観と指導観に関する討議																
4 図画工作科の指導に関する課題(1)造形遊びの考え方(授業実践事例の観察と分析,討議)																
5 造形遊びの教材開発と授業の工夫																
6 図画工作科の指導に関する課題(2)絵に表す活動-発想・構想と彩色(授業VTRの視聴と分析,討議)																
7 図画嫌いを減らす教材開発と授業の工夫(小学校高学年~)																
8 図画工作科の指導に関する課題(3)立体・工作-創造的スキルを高める(授業VTRの視聴と分析,討議)																
9 立体・工作に表す活動の教材開発と授業の工夫																
10 図画工作科の指導に関する課題(4)鑑賞-新しい価値観の形成(授業VTRの視聴と分析,討議)																
11 子どもの言語活動を重視した鑑賞の授業展開(対話型鑑賞,美術鑑賞支援教材を用いた鑑賞)																
12 美術科の指導に関する課題(1)平面表現における発想・構想の広げ方(教材開発と授業づくりの視点)																
13 美術科の指導に関する課題(2)立体表現における技法と材料(教材開発と授業づくりの視点)																
14 美術科の指導に関する課題(3)鑑賞-見方を深める(言語活動の充実を図る授業づくり)																
15 鑑賞における他教科との連携の在り方について及び授業のまとめ																
ラ ア イ ニ テ ン イ グ エ	A:知識の定着・確認	B:意見の表現・交換					C:応用志向					D:知識の活用・創造				
ラ イ ニ テ ン イ グ エ		A:知識の定着・確認 毎回、図画工作科・美術科の指導の在り方について、学生同士で相互に意見交流をしたり改善案を指摘する時間を設ける。														
時間外学修の内容と時間の目安		準備学修 各回の授業で取り上げる学習内容と指導方法の在り方について、配布資料や文献等をもとに現状と課題について理解しておくこと。 事後学修 授業で取り上げた内容で関心を持った事柄については、各自でさらに調べるとともに、実践を通じた理解・学びに努めること。														
教科書		必要に応じて資料を配布する。														
参考書		・文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』平成29年告示。 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』平成29年告示。														
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	授業時の課題	50%														
	レポート課題	50%														
注意事項	課題について事前に受講生自身で調べてから,授業に参加すること。															
備考	なし															
リンク	URL															